

志木市立志木第二小学校

G I G A スクールビジョン



GIGA スクール構想（令和元年 文部科学省）
 児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想です。
 GIGAとはGlobal and Innovation Gateway for Allの略。

ICTの特長を最大限に生かし、「一斉指導による学び（一斉学習）」に加え、「子供たち一人一人の能力や特性に応じた学び（個別学習）」
 「子供たち同士が教え合い学び合う協働的な学び（協働学習）」を推進します。

一斉学習

個別学習

協働学習

Google Workspace for Education

★アプリの活用

- ・個の表現や制作活動、発表物作成。
- ・他者との交流や学び合い。

高速大容量通信ネットワーク

1人1台端末

個別最適化の学習推進

遠隔授業 情報共有

デジタル教科書・教材・CBTシステムの活用

ニューコース 学習システム

★ドリルソフトの活用

- ・習熟度に合わせ、自分のペースで予習復習。

★オンライン授業・遠隔授業の実施

- ・学校と家庭、地域とつなぎ、教室と離れた場所でも、学習を進める。

★情報モラル教育の充実

- ・情報化社会を正しく生きる知恵を鍛える。

③ジャンプ 学びのスタンダード化「より深く」

令和5年度

- 探究のプロセスにおける様々な場面において、ICTを効果的に活用
- STEAM教育※への活用
- 情報モラル教育の充実

※Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育

②ステップ 利活用「役に立てる。一人で。みんなで。」

令和4年度

- iPadを活用した協働学習の充実
- 遠隔授業・他校との通信交流の試行
- eラーニングを活用した家庭学習
- 情報モラル教育の充実

【数値目標】 10～15時間 / 週

①ホップ 試行・検証「触れる。慣れる」

令和3年度

- iPadを活用した授業の試行
- 特定の教科での活用による表現・制作
- eラーニングの試行
- 情報モラル教育の徹底

【数値目標】 5時間 / 週